

心理学・教育学委員会分科会の設置について

分科会等名：脳と意識分科会

1	所属委員会名 (複数の場合は、主体となる委員会に○印を付ける。)	心理学・教育学委員会
2	委員の構成	20名以内の会員又は連携会員
3	設置目的	意識(心)と脳のかかわりの科学的解明は21世紀のサイエンスの目標である。意識と脳は、心理学、哲学、医学、情報学、ロボット工学など日本学術会議の第1,2,3部の先端研究分野と密接につながる学際融合的なテーマである。 本分科会は、これまで脳と社会的意識のかかわりを自他の協調、共感や競合を調整し、健全な社会性を育む「社会脳 social brain」と呼ぶ融合的な新学術領域にまで深め、近未来のスマート社会がもたらす諸問題が社会脳に及ぼす影響に新たな光を当てきた。社会脳が、自他の相互理解を通して、どのように社会適応を促し、また不適応を導くのかについて心理学、脳科学や情報学から検討してきた。 分科会では、社会脳を神経心理学、神経(行動)経済学、神経倫理学、神経法学、神経美学、神経哲学、臨床医学や発達障害学などの諸側面からとらえ、提言「融合社会脳研究の創生と展開」(2017)を刊行した。文系理系が交差する新たな学問分野を開拓し、その拠点として「融合社会脳研究センター」を創設することを目指している。学術会議の重点大型研究計画マスタープラン2020でもこの構想が採択された。
4	審議事項	脳と意識にかかわる先端研究を俯瞰し、新たな学問としての融合社会脳の発展へ向けて、その新学問領域の創生発展に向けて議論を深めると同時に、研究成果の社会還元を目指す「融合的社会脳研究センター」創設について審議する。
5	設置期間	令和2年10月29日～令和5年9月30日
6	備考	※事実上の継続